

「第14回 消費動向に関するインターネット調査」の結果について ～8割弱が物価の上昇を実感、ボーナス受給額は7割強が変わりなし～

足利銀行（頭取 清水 和幸）のシンクタンクであるあしぎん総合研究所（社長 荒井 大）は、「第14回 消費動向に関するインターネット調査」を行いましたので、その結果を別紙のとおり発表いたします。今回のポイントは下記のとおりです。

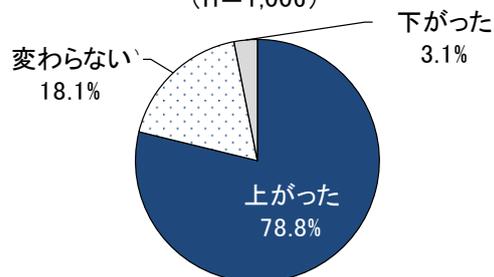
記

<調査結果のポイント>

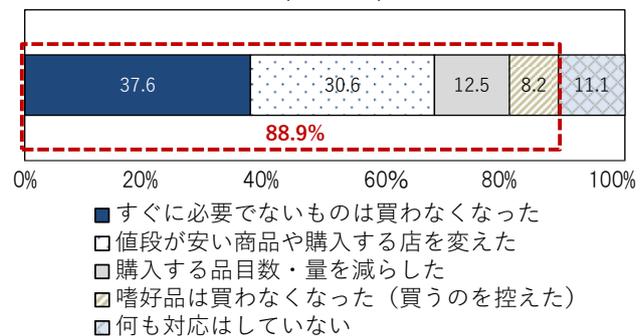
■購入品の値段の変化と対応方法 ～8割弱が物価の上昇を実感～

- ・ 半年前と比較した購入品の値段の変化について、「上がった」が78.8%と最も多く、次いで「変わらない」が18.1%であった。（図表1）
- ・ 購入品の値上がりへの対応としては、「すぐに必要でないものは買わなくなった」が37.6%と最も多い。「何も対応していない」としたのは11.1%と、約9割が値上がりに対し何らかの対応をとっていることが分かる。（図表2）

図表1 半年前と比較した購入品の値段の変化
(n=1,006)



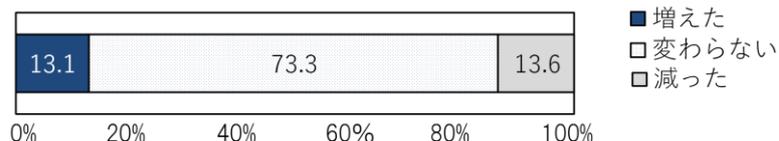
図表2 購入品の値上がりへの対応方法
(n=793)



■夏季ボーナスの状況 ～7割強が前年夏季ボーナスと変わらない～

- ・ 前年夏季ボーナスと比較した受給状況について、「変わらない」が73.3%で最も多く、次いで「減った」が13.6%となった。

図表3 夏季ボーナスの受給状況
(n=910、前年夏季ボーナスとの比較)



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社あしぎん総合研究所 地域開発事業部 竹内 Tel 028-908-6116

「第 14 回 消費動向に関するインターネット調査」の結果について

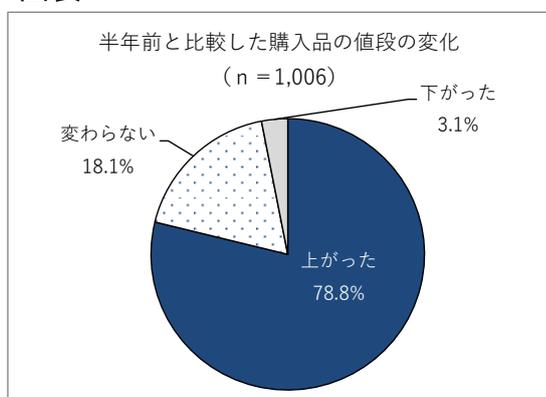
－8 割弱が物価の上昇を実感、ボーナス受給額は 7 割強が変わりなし－

<調査結果のポイント>

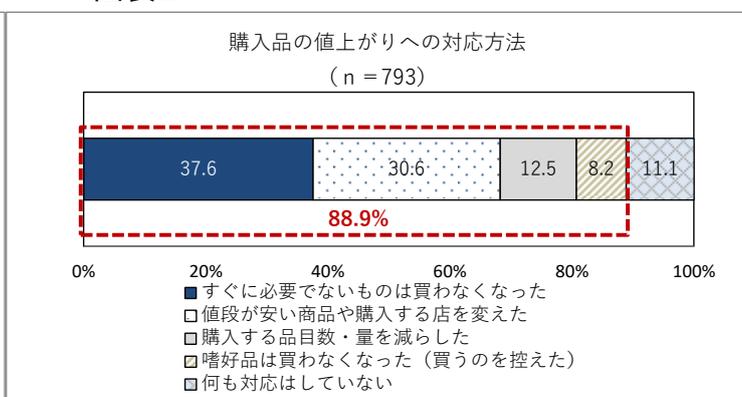
■購入品の値段の変化と対応方法 ～8 割弱が物価の上昇を実感～

- ・ 半年前と比較した購入品の値段の変化について、「上がった」が 78.8%と最も多く、次いで「変わらない」が 18.1%であった（図表 1）。
- ・ 購入品の値上がりへの対応としては、「すぐに必要でないものは買わなくなった」が 37.6%と最も多い。「何も対応していない」としたのは 11.1%と、約 9 割が値上がりに対し何らかの対応をとっていることが分かる（図表 2）。

図表 1



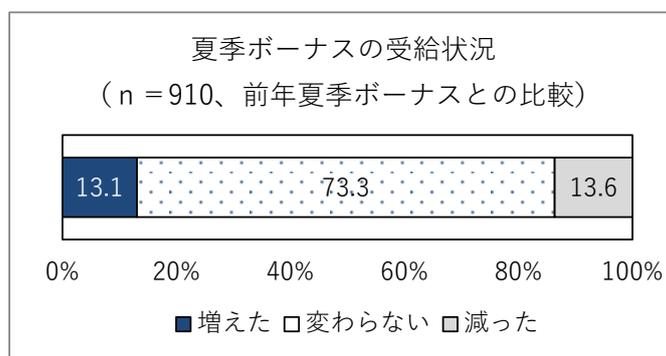
図表 2



■夏季ボーナスの状況 ～7 割強が前年夏季ボーナスと変わらない～

- ・ 前年夏季ボーナスと比較した受給状況について、「変わらない」が 73.3%で最も多く、次いで「減った」が 13.6%となった。

図表 3



<調査の概要>

- (1) 調査時期 2023年8月
- (2) 調査方法 インターネット調査
- (3) 調査対象者 栃木県、茨城県、群馬県、埼玉県の20歳以上の男女
(20歳～69歳：有職者、70歳以上：有職者＋無職等)
- (4) 回答者数 1,006人
- (5) 回答状況 下記のとおり

回答状況

		回答者数 (人)	構成比 (%)			回答者数 (人)	構成比 (%)
全体		1,006	100.0	業種	製造業	182	19.8
性別	男性	503	50.0		卸・小売業	109	11.8
	女性	503	50.0		建設・不動産業	51	5.5
年代	20-29歳	185	18.4	情報通信業	35	3.8	
	30-39歳	184	18.3	運輸業	45	4.9	
	40-49歳	185	18.4	医療・福祉	133	14.5	
	50-59歳	187	18.6	飲食・サービス業	115	12.5	
	60-69歳	185	18.4	金融・保険業	45	4.9	
	70歳以上	80	8.0	その他	205	22.3	
職業	会社員・会社役員	451	44.8				
	公務員・団体職員	72	7.2				
	自営業	67	6.7				
	自由業・専門職	70	7.0				
	派遣・契約社員	250	24.9				
	パート・アルバイト (学生を除く)	10	1.0				
	無職・その他	86	8.5				

(6) 注意点

図表中のnとは、回答者数のことである。

集計は、小数第2位を四捨五入しているため、数値の合計は100%にならない場合がある。

(7) 目次

1. 世帯の支出について

- (1) 半年前と比較した支出の変化 P3
- (2) 半年前と比較して増えた支出・減った支出 P4
- (3) 現在と比較した半年後の支出の状況 P5

2. 物価について

- (1) 半年前と比較した購入品の値段の変化 P5
- (2) 購入品の値上がりへの対応 P6
- (3) 特に値段が上がったと感じるもの P7
- (4) 物価の見通し P8

3. 夏季ボーナスについて

- (1) 夏季ボーナスの受給状況（前年夏季ボーナス比） P8
- (2) 夏季ボーナスの使い道 P9

4. ネットショッピングについて

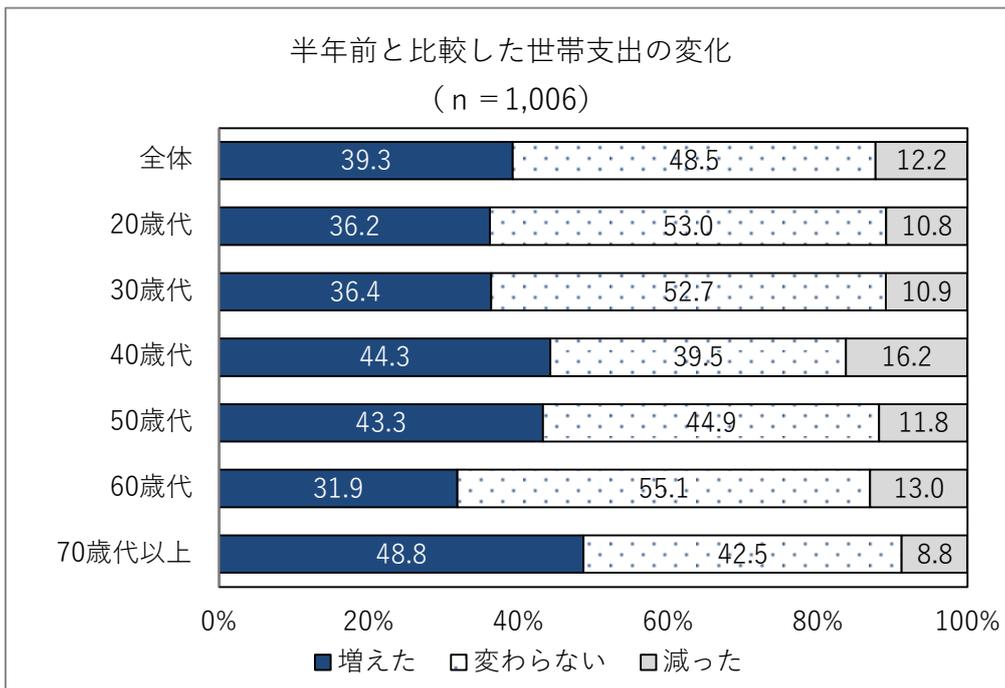
- (1) ネットショッピングの月間利用回数 P10
- (2) ネットショッピングの年間利用額 P11
- (3) ネットショッピングで購入する品物 P12

1. 世帯の支出について

(1) 半年前と比較した世帯支出の変化

- 「変わらない」が48.5%と最も多く、「増えた」が39.3%、「減った」は12.2%であった（図表4）。
- 年代別で見ると、「増えた」と回答した年代が最も多いのは「70歳代以上」で約半数を占めている。全体（39.3%）と比較すると9.5ポイント上回った。
- 一方、「減った」と回答したのが最も多い年代は「40歳代」（16.2%）であり、全体（12.2%）と比較すると4.0ポイント上回った。

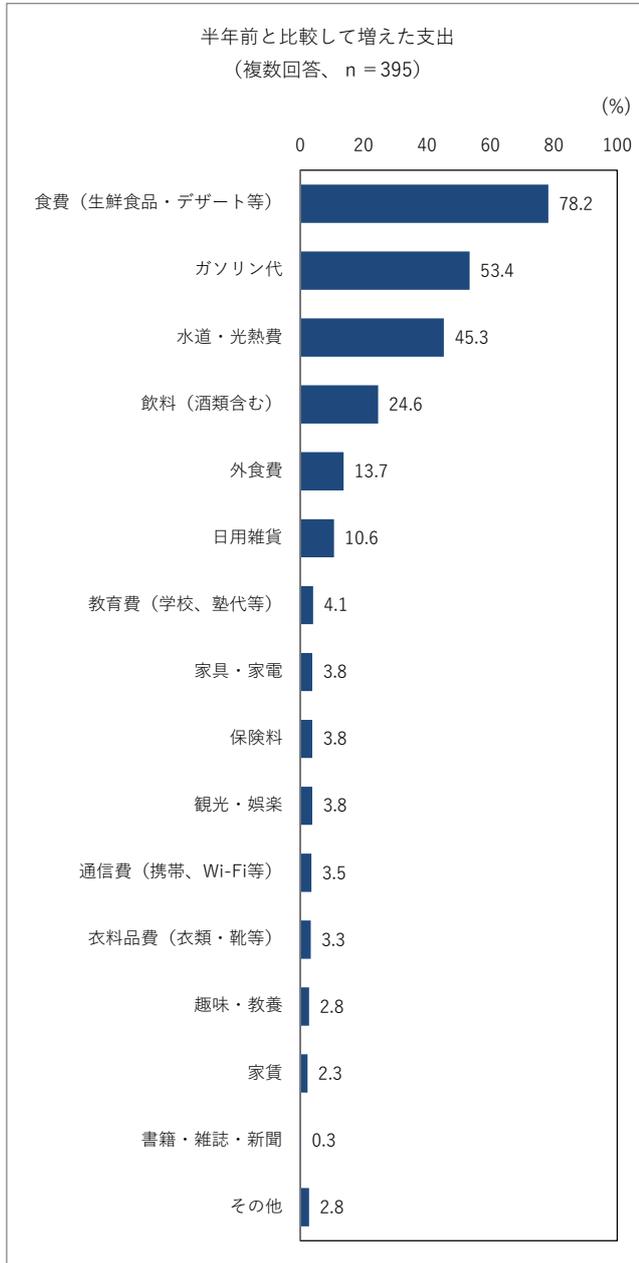
図表4



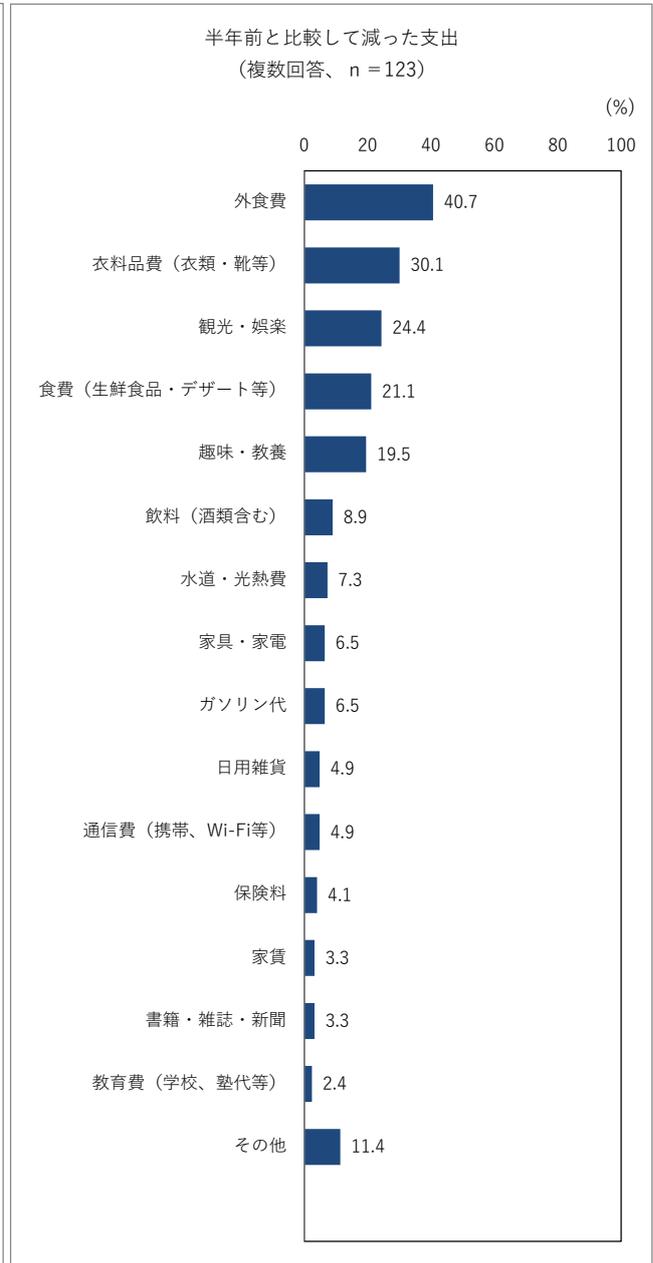
(2)半年前と比較して増えた支出・減った支出

- 増えた支出で最も多いのは「食費（生鮮食品・デザート等）」で78.2%、次いで「ガソリン代」が53.4%、「水道・光熱費」が45.3%となった（図表5）。
- 一方、減った支出は、「外食費」が40.7%で最も多く、次いで「衣料品費（衣類・靴等）」が30.1%、「観光・娯楽」が24.4%となった（図表6）。

図表5



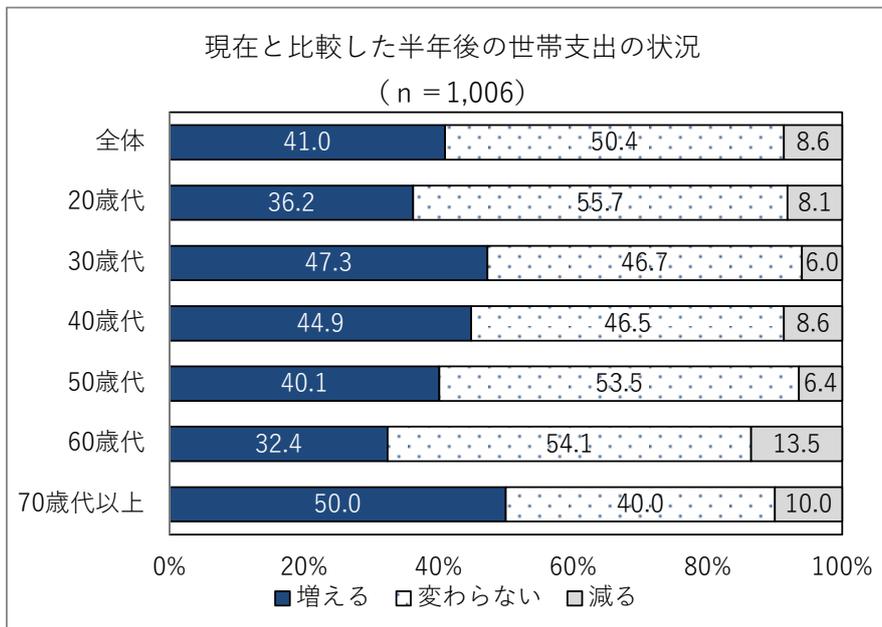
図表6



(3)現在と比較した半年後の支出の状況

- 「変わらない」が最も多く50.4%、「増える」が41.0%であった（図表7）。
- 「増える」と回答した最も多い年代は「70歳代以上」で50.0%、次いで「30歳代」が47.3%であった。

図表7

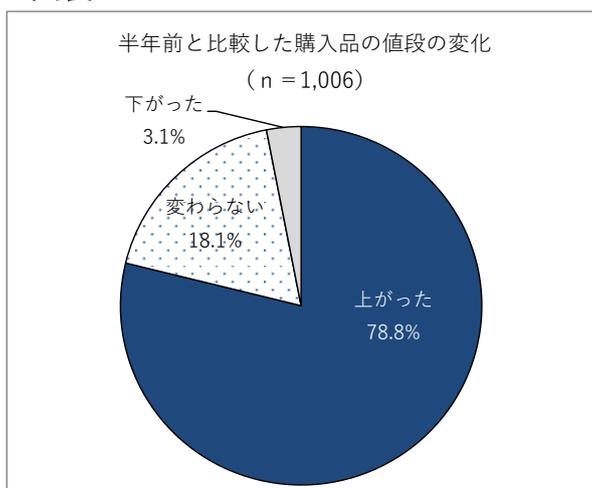


2. 物価について

(1)半年前と比較した購入品の値段の変化

- 「上がった」(78.8%)が最も多く、8割弱が物価の上昇を実感している（図表8）。

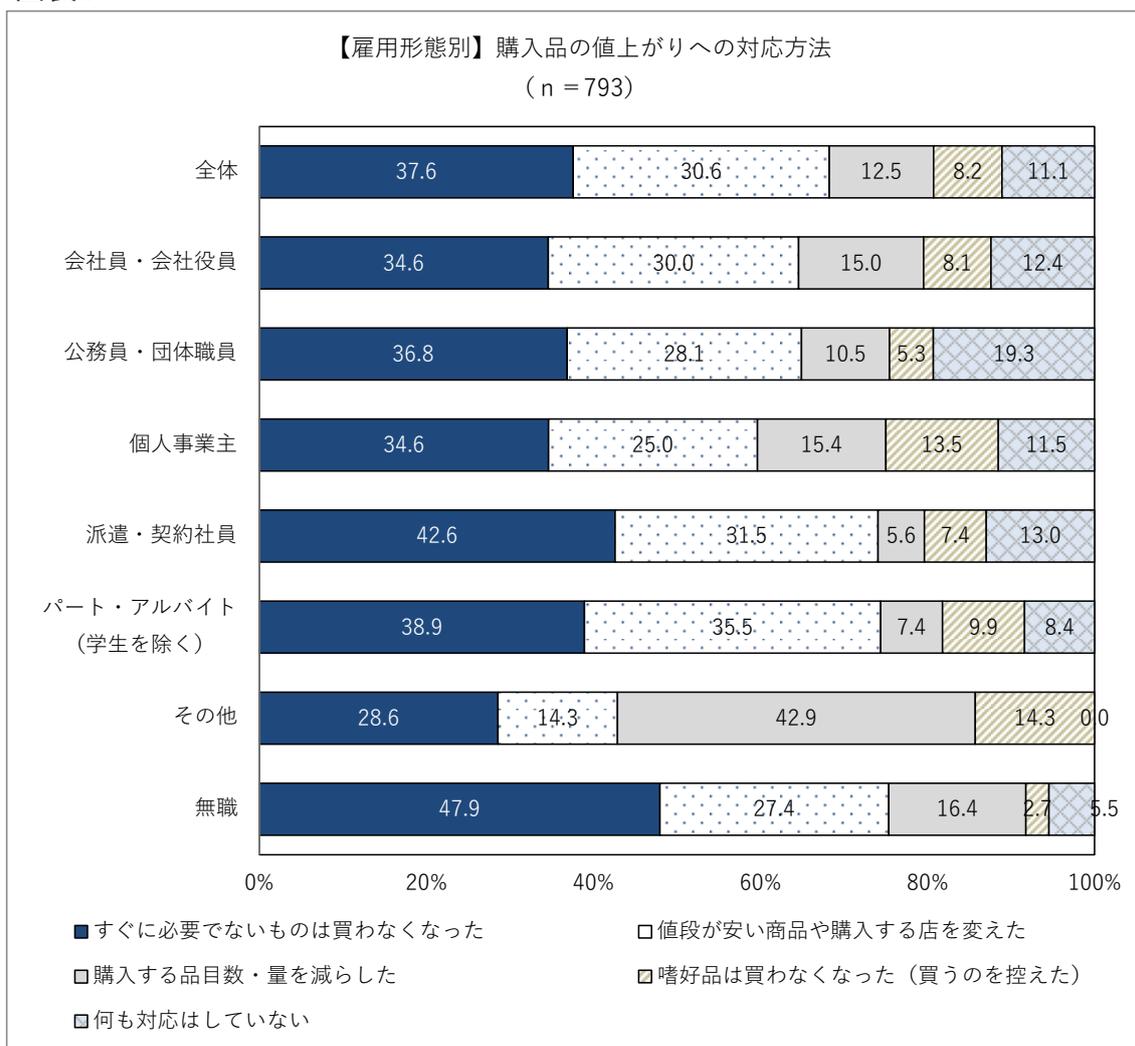
図表8



(2) 購入品の値上がりへの対応方法

- 全体では、「すぐに必要でないものは買わなくなった」が37.6%で最も多く、次いで「値段が安い商品や購入する店を変えた」が30.6%、「購入する品目数・量を減らした」が12.5%となった（図表9）。
- 雇用形態別でみると、「すぐに必要でないものは買わなくなった」が最も多いのは「無職」で47.9%と、全体と比較すると10ポイント以上の開きがある。
- 「何も対応はしていない」とする回答は全体でみると約1割程度に止まった。

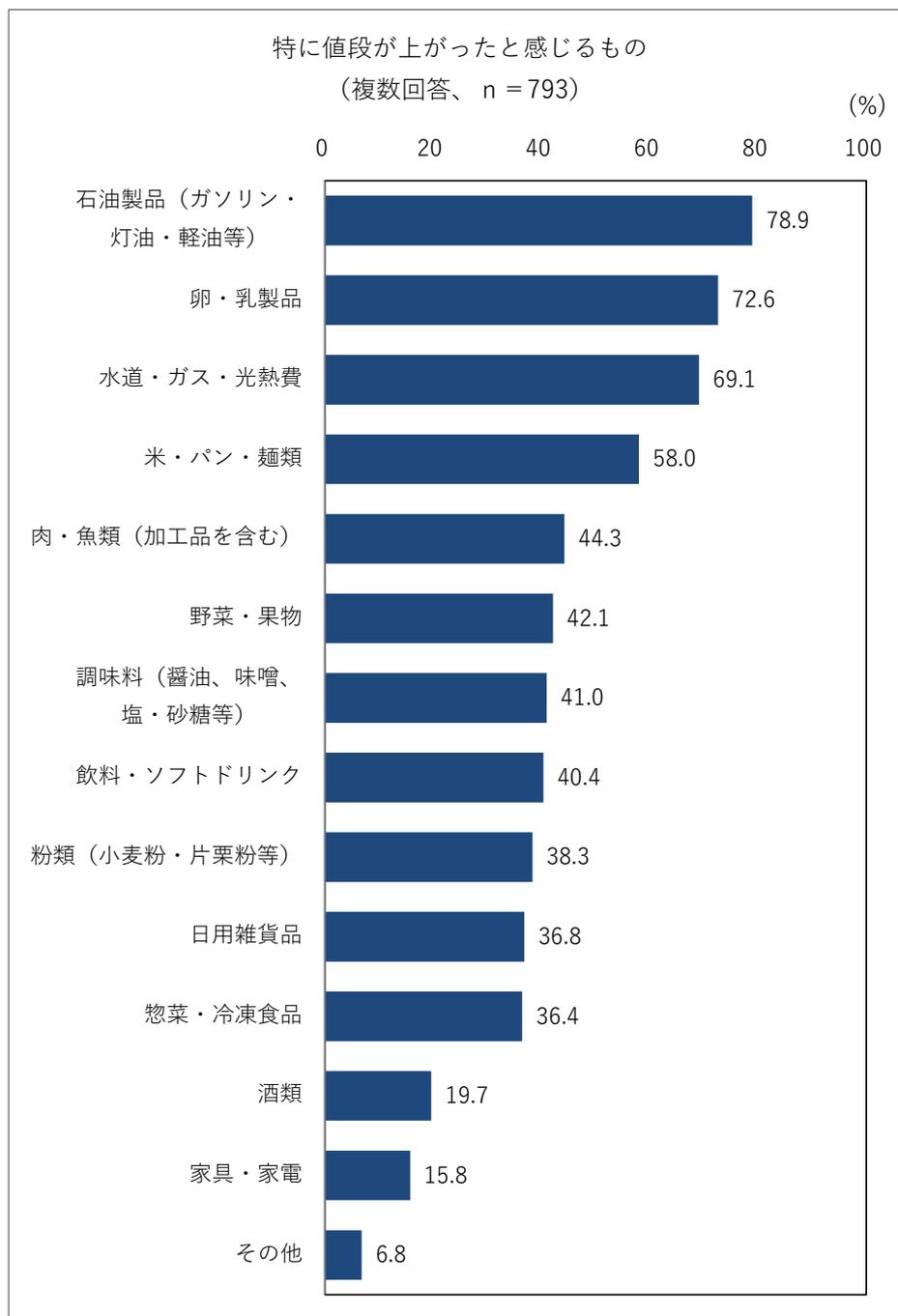
図表9



(3)特に値段が上がったと感じるもの

- 「石油製品（ガソリン・灯油・軽油等）」が78.9%と最も多く、次いで「卵・乳製品」が72.6%、「水道・ガス・光熱費」が69.1%であった（図表10）。

図表10



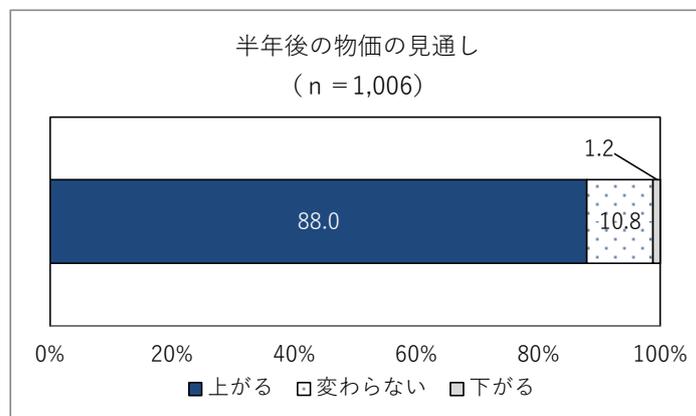
(参考)

経済産業省資源エネルギー庁の調査によると、2023年8月7日時点のレギュラー現金価格は180.3円/ℓ、同年3月6日時点167.4円/ℓと比較すると12.9円/ℓ値上がりしている。

(4)物価の見通し

- 半年後の物価について9割弱が「上がる」と回答した（図表11）。
- 一方、「下がる」と回答したのは1.2%に止まった。
- 1. (3)で半年後の支出が「増える」（41.0%）及び「変わらない」（50.4%）と回答した人のほとんどが、半年後の物価は「上がる」と答えていると思われる。

図表11

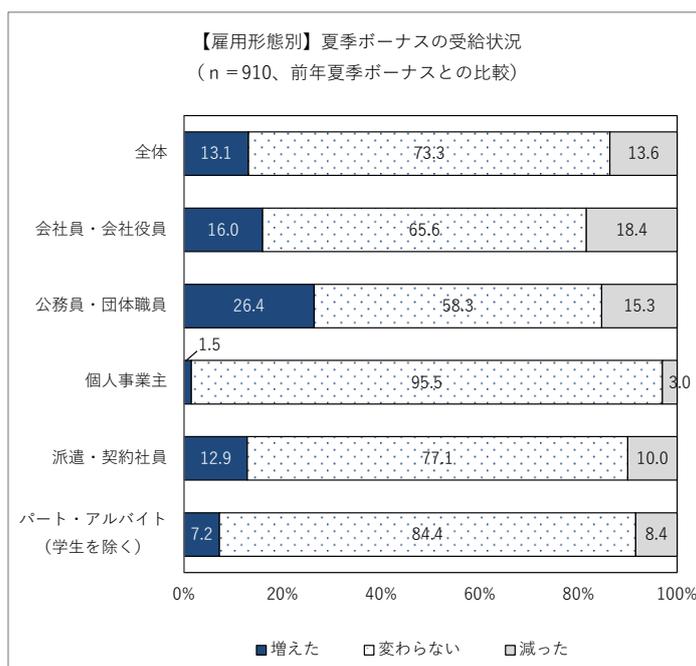


3. 夏季ボーナスについて<有職者のみ回答>

(1)夏季ボーナスの受給状況(前年夏季ボーナス比)

- 全体では、「変わらない」が73.3%で最も多く、「減った」が13.6%となった（図表12）。
- 雇用形態別でみると、「増えた」との回答が最も多かった「公務員・団体職員」でも、6割弱が「変わらない」となっている。

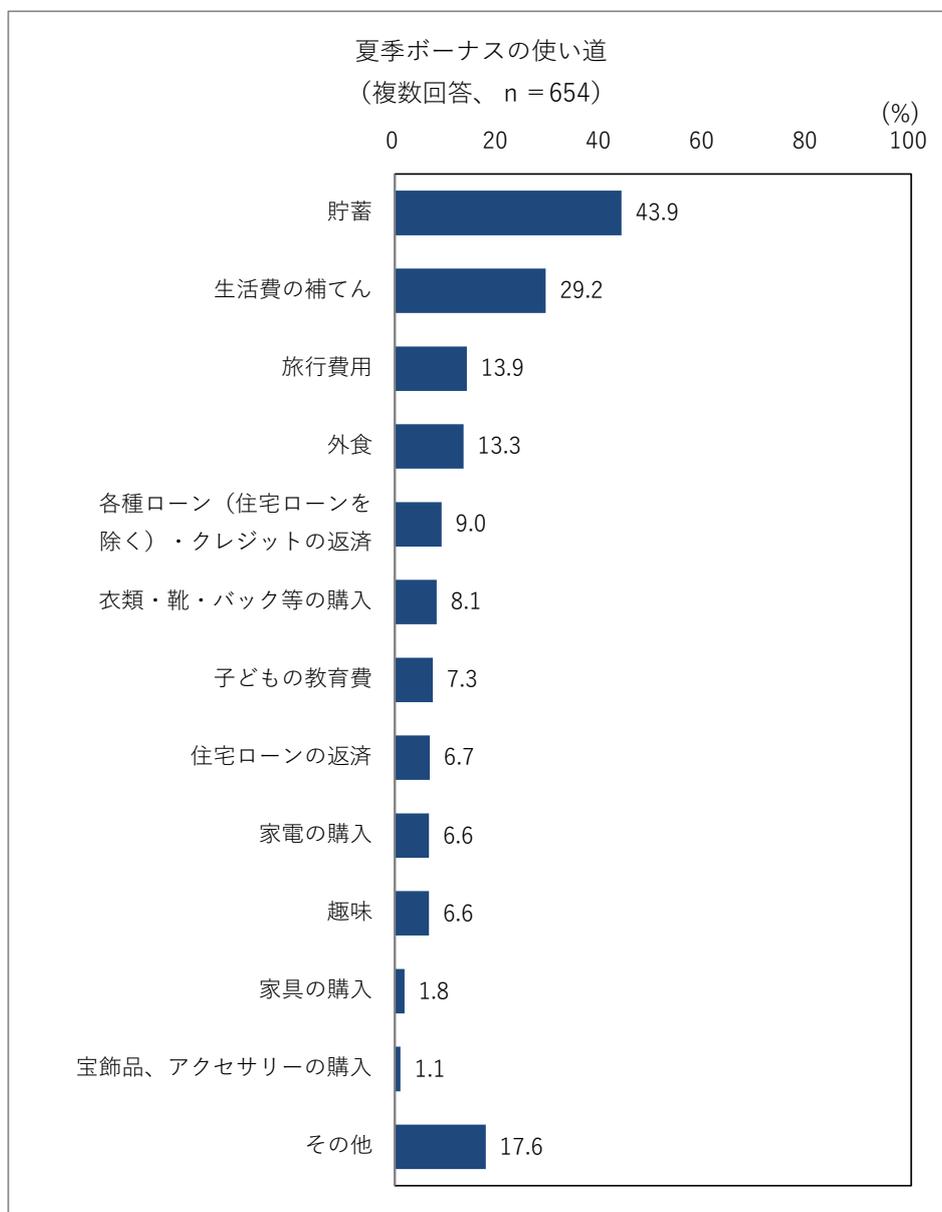
図表12



(2) 夏季ボーナスの使い道

- 「貯蓄」が43.9%と最も多く、次いで「生活費の補てん」が29.2%、「旅行費用」が13.9%となった（図表13）。

図表13

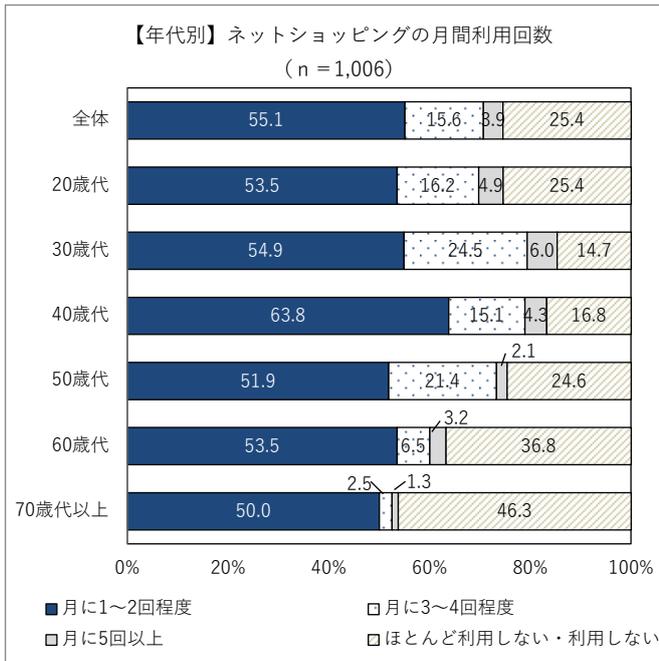


4. ネットショッピングについて

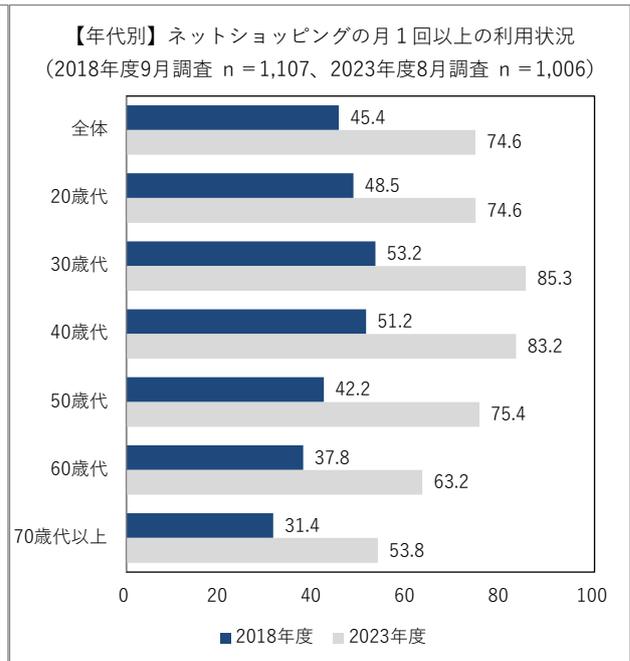
(1) ネットショッピングの月間利用回数

- 「月に1~2回程度」が55.1%で最も多く、次いで「ほとんど利用しない・利用しない」が25.4%、「月に3~4回程度」が15.6%となった（図表14）。
- 月1回以上利用している割合（74.6%）は5年前（2018年9月調査）のそれ（45.4%）と比較すると、29.2ポイント増加している（図表15）。

図表14



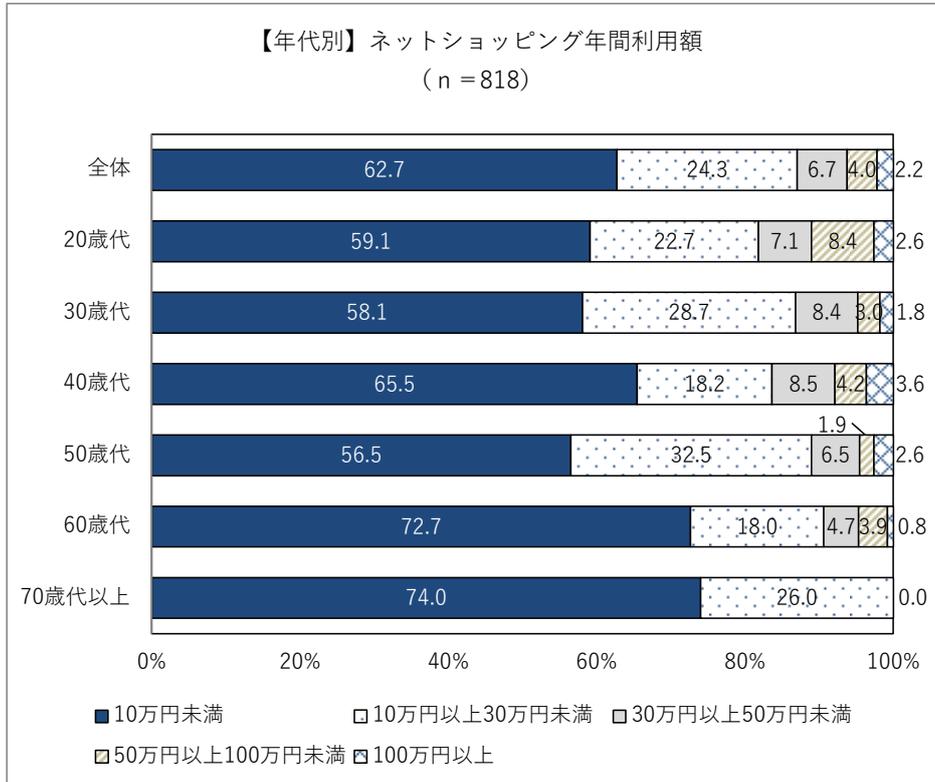
図表15



(2) ネットショッピングの年間利用額

- 年間利用額で最も多いのは「10万円未満」で62.7%、次いで「10万円以上30万円未満」が24.3%となった（図表16）。
- 年間100万円以上利用している割合は5年前（2018年9月調査）と比較すると2倍に増えた。

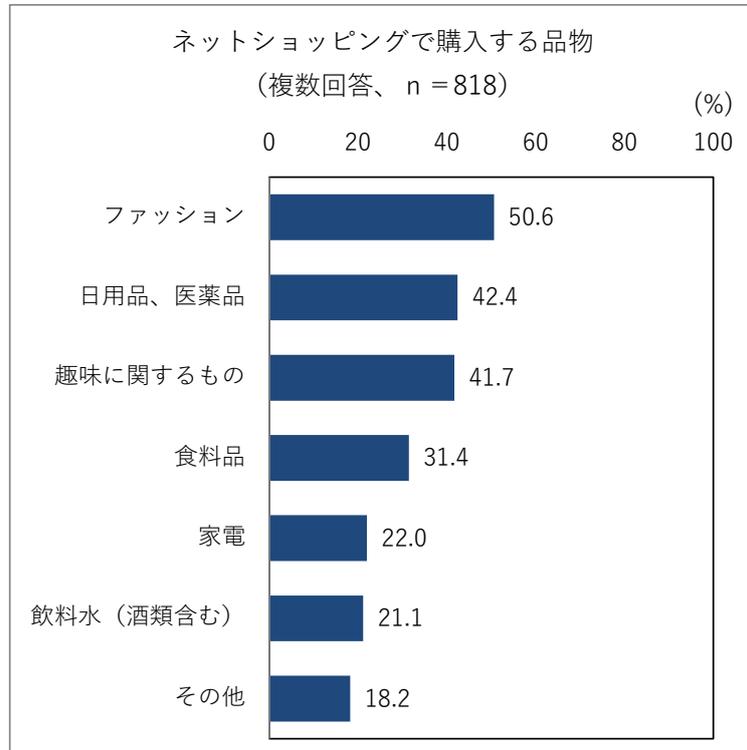
図表16



(3) ネットショッピングで購入する品物

- 「ファッション」が50.6%で最も多く、次いで「日用品、医薬品」が42.4%、「趣味に関するもの」が41.7%となった（図表17）。

図表17



以上